

# エジプト

Arab Republic of Egypt

		2013/14年度	2014/15年度	2015/16年度
①人口：9,009万人（2016年1月1日）	④実質GDP成長率（%）	2.2	4.2	3.5
	⑤消費者物価上昇率（%）	10.1	11.0	10.3
②面積：100万1,450km <sup>2</sup>	⑥失業率（%）	13.4	13.1	12.7
③1人当たりGDP：3,740米ドル	⑦貿易収支（100万米ドル）	△34,159	△39,060	△19,463
（2015年）	⑧経常収支（100万米ドル）	△2,780	△12,143	△8,921
	⑨外貨準備高（100万米ドル）	13,608	11,995	13,282
	⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	46,067	48,063	53,445
	⑪為替レート（1米ドルにつき、 エジプト・ポンド、期中平均）	6.87	7.08	7.69

〔注〕年度は7月～翌年6月。③⑥⑨⑪：暦年（2015/16年度の⑥は2015年6月末時点）。④⑦⑧：2015/16年度は上半期分（2015年7～12月、前年同期比）。⑤：2015/16年度は2016年4月の前年同月比。⑦：通関ベース。⑦⑧：2014/15、2015/16年度は暫定値。⑩：2015/16年度は2016年3月末時点（暫定値）

〔出所〕①⑥：エジプト中央動員統計局、②：エジプト国家情報サービス、③⑨⑪：IMF、④⑦⑧⑩：エジプト中央銀行、⑤：2013/14、2014/15年度はエジプト中央動員統計局、2015/16年度はエジプト中央銀行

## ■ 堅調な内需と好調な製造業が経済を牽引

国内情勢の安定化や公的部門の最低賃金引き上げ、海外労働者送金の増加（前年度比4.4%増）などが消費を支え、2014/15年度（2014年7月～2015年6月）の実質GDP成長率は4.2%となった。また、2015年8月に開通した第2スエズ運河など大型公共インフラ投資が総固定資本形成（8.6%増）に寄与した。産業別にみると、製造業（構成比16.6%）が14.2%増と好調で、特に非石油製造業（12.4%）が伸びた。卸・小売業（12.9%）も16.1%増だった。観光（1.8%）は28.4%増を記録したが、2015年10月のロシア機墜落以降は再び減速傾向にある。

## ■ 油価下落で輸出は大幅減、貿易赤字は拡大

2015年の貿易は、輸出が前年比16.4%減の1,632億5,300万エジプト・ポンド（以下、LE）、輸入が8.7%増の5,689億3,100万LEで、貿易赤字は23.7%拡大した。

輸出を品目別にみると、最大品目の原油（構成比9.3%）が前年比29.3%減、石油製品（7.6%）は37.4%減と原油価格下落の影響を受けた。衣類（5.8%）は、総額の約半分を占める米国や、英国、トルコ向けが減少した。

輸出を国・地域別にみると、最大相手国はサウジアラビアで、品目は機械・部品、食品、鉄鋼製品などが中心で、前年比1.1%減の147億6,800万LEだった。2位のイタリア向けは鉱物性燃料、アルミニウム、綿花などが主要品目で輸出額は31.6%減少した。一方、アラブ首長

国連邦（UAE）は17.7%増と好調だった。輸出総額の37.5%を占める大アラブ自由貿易地域（GAFTA。エジプトを除く17カ国）は、リビアやイラク向けの落ち込みを受け、10.9%減の612億900万LEだった。

輸入の最大品目の石油製品（構成比12.9%）は、前年比58.2%の大幅増だった。国際的な原油価格下落の一方で、通貨安の影響を受けたとみられる。小麦（3.4%）は国際価格が下落傾向だったことを受け15.1%減少した。

輸入を国別にみると、中国が前年比25.6%増の747億9,387万LEで昨年に続き最大の輸入相手国となった。主要品目は、電気機械・部品類、合成繊維、衣類などだった。2位のドイツは9.1%増の442億382万LEで、主要品目は車両・部品、ボイラー・機械・部品などだった。

## ■ 直接投資は7割超が石油およびサービス分野

エジプト中央銀行によると、2014/15年度の対内直接投資額（国際収支ベース、フロー、暫定値）は、流入が125億4,600万ドルと前年度比15.6%増加した。流出は7.7%減の61億6,600万ドルで、ネットは63億8,000万ドルとなり、流入超過額は52.7%増を記録した。2014/15年度第1～3四半期の部門別の直接投資流入額は、全体の

表1 エジプトの主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万エジプト・ポンド、%）

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
原油	21,587	15,257	9.3	△29.3	石油製品	46,425	73,454	12.9	58.2
石油製品	19,935	12,477	7.6	△37.4	鉄鋼一次製品	32,825	28,451	5.0	△13.3
衣類	10,120	9,501	5.8	△6.1	小麦	22,855	19,405	3.4	△15.1
肥料	5,427	5,508	3.4	1.5	プラスチック一次製品	19,313	18,723	3.3	△3.1
プラスチック一次製品	7,415	5,446	3.3	△26.6	薬剤・医薬用品	13,651	17,294	3.0	26.7
合計（その他含む）	195,276	163,253	100.0	△16.4	合計（その他含む）	523,361	568,931	100.0	8.7

〔出所〕エジプト中央動員統計局

表2 エジプトの主要国別輸出入<通関ベース>

(単位:100万エジプト・ポンド、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
サウジアラビア	14,928	14,768	9.0	△1.1	中国	59,565	74,794	13.1	25.6
イタリア	17,921	12,263	7.5	△31.6	ドイツ	40,509	44,204	7.8	9.1
トルコ	10,524	9,440	5.8	△10.3	米国	37,773	33,496	5.9	△11.3
アラブ首長国連邦(UAE)	7,128	8,386	5.1	17.7	ロシア	21,283	25,787	4.5	21.2
米国	9,077	8,355	5.1	△8.0	トルコ	20,628	25,307	4.4	22.7
日本	2,586	934	0.6	△63.9	日本	11,329	13,890	2.4	22.6
合計(その他含む)	195,276	163,253	100.0	△16.4	合計(その他含む)	523,361	568,931	100.0	8.7

[出所] エジプト中央動員統計局

6割を占める石油部門が昨年度に続き最大で、前年度同期比4.5%増の62億2,600万ドルだった。続くサービス部門(構成比11.5%)は11億8,400万ドルで3.5倍、建設部門(6.0%)も5.3倍と好調だった。過去数年の政情不安により石油・天然ガスは生産減となり、電力不足が深刻化した。2014年夏に頻発した停電により政権への不満が高まったこともあり、エネルギー部門投資は重要な課題だ。2015年8月には、イタリア炭化水素公社(ENI)がシュルーク鉍区に地中海最大規模のガス田を発見した。今後相当年数の需要を賄える見込みという。

直接投資の流入を国別にみると、英国が49億8,970万ドル(構成比39.8%、前年度比1.7%減)で昨年度に続き最大だ。英石油大手BPは、2015年3月のエジプト経済開発会合で西ナイル・デルタ地区を含む計120億ドルの案件への参画を表明。UAEは前年度比3.4倍だった。好調な個人消費を受け、UAEの大手小売りマジド・アル・フタイムがカルフルを5店舗開店(2015年)、国内店舗数を32に伸ばした。今後5年でさらに170億LEを投資する計画だ。韓国(3.5倍、11位)や中国(9.6倍、16位)の投資も急増している。地域別ではEUが約5割、アラブ諸国が約2割を占めた。

## ■石油製品の減少で日本の輸入は半減

日本の「貿易統計(通関ベース)」をドル換算すると、

表3 エジプトの主要国別対内直接投資<国際収支ベース、フロー>

(単位:100万ドル、%)

	2013/14年度		2014/15年度	
	金額	金額	構成比	伸び率
英国	5,079	4,990	39.8	△1.7
米国	2,230	2,116	16.9	△5.1
アラブ首長国連邦(UAE)	401	1,383	11.0	244.6
ベルギー	617	664	5.3	7.6
サウジアラビア	284	649	5.2	128.2
日本	66	51	0.4	△23.8
流入計(その他含む)	10,856	12,546	100.0	15.6
流出計	6,678	6,166		△7.7
ネット	4,178	6,380		52.7

[注] 2014/15年度は暫定値。

[出所] エジプト中央銀行

2015年の日本の対エジプト貿易は、輸出が前年比9.9%減の12億8,484万ドル、輸入が49.5%減の1億5,090万ドルとなり、日本の貿易黒字は微増した。最大の輸出品目は自動車(構成比37.9%、7.9%減)で、バス・トラック

が17.8%減となった一方、乗用車が15.8%増と好調だった。自動車と鉄鋼(10.7%、7.0%増)で輸出総額の48.6%を占めた。食料品では、額は小さいがエジプトは日本の冷凍サバの輸出先としてタイに次ぐ2位となっている。農林水産省の統計によると、2015年の輸出量は4,360万トン、42億円に上った。一方、最大の輸入品目である石油製品(53.5%)は55.0%減、揮発油も56.3%減と大幅減、液化天然ガスは全減した。2015年以降の外貨決済規制の強化が、両国間の貿易拡大の障害の一つとなっている。

エジプト中央銀行によると、2014/15年度の日本の対エジプト直接投資額(国際収支ベース、フロー、暫定値)は、前年度比23.8%減の5,060万ドルだった。2016年2~3月のシシ大統領訪日では、エジプト電力部門改善への新規円借款約411億円が発表され、スエズ運河周辺開発など全15件、総額2兆円規模の事業の覚書が締結された。

表4 日本の対エジプト主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(その他含む、FOB)	1,426	1,285	100.0	△9.9
輸送機器	608	548	42.6	△9.8
自動車	528	486	37.9	△7.9
バス・トラック	364	299	23.3	△17.8
乗用車	144	167	13.0	15.8
一般機械	316	248	19.3	△21.3
建設用・鉍山用機械	57	66	5.1	15.2
原料別製品	253	234	18.2	△7.5
鉄鋼	129	138	10.7	7.0
ゴム製品	105	78	6.1	△25.7
電気機器	111	108	8.4	△2.2
化学製品	6	6	4.4	0.7
食料品	3	4	2.7	26.8
	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額(その他含む、CIF)	299	151	100.0	△49.5
鉍物性燃料	242	81	53.5	△66.7
石油製品	179	81	53.5	△55.0
揮発油	177	78	51.4	△56.3
衣類・同付属品等	14	22	14.4	57.6
食料品	18	21	13.7	17.0
果実	8	9	5.7	6.5
原料品	12	10	6.6	△13.6
原料別製品	11	7	4.6	△35.4

[出所] 財務省「貿易統計(通関ベース)」を基に作成